

学部 / 看護専門領域 / 看護援助の方法科目
コード:140004

成人・老年看護方法論演習Ⅱ Practice: Adult and Gerontological Nursing Ⅱ

担当教員	北村言、大橋史弥、沖田翔平、紺家千津子、臺美佐子、松本勝、南條 裕子、額奈々、瀧澤理穂、星野 真実												
実務経験	複数の教員が担当しており、全員に病院勤務経験がある。												
開講年次	3年次前期			単位数	1			授業形態			講義・演習		
必修・選択	必修			時間数	30								
該当ディプロマポリシー	(1)		(2)		(3)	○	(4)	◎	(5)		(6)		
Keywords	老年期、認知症、看護展開、生活支援、エコー												
学習目的・目標	[目的]老年期の患者の健康状態のアセスメント、看護計画の立案・実施に必要な知識・技術を習得し、看護過程が展開できる力を養う。 [目標] 1. 事例情報から看護に必要な情報を捉え、それらを関連付けて対象の全体像を描くことができる。 2. 対象高齢者の強みを捉え、看護ケアを考えることができる。 3. 高齢者ケアで必要となることが多い看護技術について実施することができる。												
授業計画・内容													
回	内容												
1-2	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護① 【演習】アセスメント												
3-4	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護② 【演習】アセスメント、ケア計画の立案												
5-6	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護③ 【演習】手順書の作成(移乗、更衣) 【講義・演習】褥瘡の予防ケア、評価												
7-8	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護④ 【講義・演習】移乗の介助、更衣の介助												
9-10	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護⑤ 【講義・演習】排尿障害のアセスメント、エコーを用いた膀胱内残尿量計測												
11-12	脳血管障害後遺症・認知機能低下を有する高齢者への看護⑥ 【講義・演習】摂食嚥下、口腔内の観察(VR)・口腔ケア												
13-14	認知症を有する高齢者への看護 【講義・演習】認知機能障害を有する高齢者とのコミュニケーション、プロセスレコード												
15	【講義】高齢患者の在宅・施設での療養への移行支援												
教科書	老年看護学概論(改訂第4版)、南江堂、老年看護学技術(改訂第4版)、南江堂												
参考図書等													
評価指標	演習への参加度と記録(50%)、筆記試験(50%) *2/3以上の出席がなければ評価の対象にはならない。												
関連科目	本科目の履修条件は、基本的に成人看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護学概論、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱを履修し、単位認定されていることとする。 関連科目:成人看護学概論、老年看護学概論、成人看護方法論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、老年看護方法論Ⅰ・Ⅱ、成人・老年看護方法論演習Ⅰ・Ⅲ、成人・老年看護学実習(急性期)、成人・老年看護学実習(慢性期)、解剖生理学/演習、代謝と栄養、疾病・障害論Ⅰ～ⅡC、フィジカルアセスメントⅠ・Ⅱ、薬理学など												
教員から学生へのメッセージ	グループワークや演習が中心の授業です。積極的に参加し、受講学生同士でお互いに学びを高めあっていきましょう。												